

令和 5 年 4 月 14 日

三井不動産株式会社
宗教法人明治神宮
独立行政法人日本スポーツ振興センター
伊藤忠商事株式会社

神宮外苑地区まちづくりを進める意義等について

令和 5 年 4 月 6 日付で東京都より受領した「神宮外苑地区におけるまちづくりに関する再要請」において、「神宮外苑地区まちづくり」(以下「本計画」)を進める意義や理念に関し、必ずしも都民の皆様
の理解や共感を得られていない等の指摘を受けたことにつきまして、事業者として真摯に受け止めて
おります。あらためて本計画の意義や必要性等について下記のとおりお知らせするとともに、都民の
皆様はもとより多くの方々にご理解いただけるよう、情報発信に積極的に取り組んでまいります。

記

<本計画を進める意義・必要性等について>

1. まちづくりを進める意義・必要性

本計画地の現況における課題につきましては、「東京 2020 大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針
(平成 30 年 11 月)」や、「神宮外苑地区公園まちづくり計画提案書」においても詳細に記載されてい
るところですが、特に、

- (1)大規模スポーツ施設の老朽化
- (2)広場等のオープンスペースの不足
- (3)地区内の回遊性の不足
- (4)イベント開催時の歩行空間の不足

等は大きな課題であり、解決が必要であると認識しております。

こうした本計画地の公共的課題の解決の必要性と共に、地権者がそれぞれ所有するスポーツ施設
や本社ビルの経年に伴う将来的な機能更新の必要性等から、共同でまちづくり事業を計画し進めてま
いりました。

なかでも明治神宮外苑は長い歴史の中で都民をはじめ多くの皆様に親しまれてきた場所であり、今
般、まちづくりを進めるに至った背景についてあらためて説明させていただきます。

創建以来終戦まで国の管理下にあった明治神宮内苑・外苑は、戦後は宗教法人明治神宮が全て
の施設と緑地を管理することとなりましたが、外苑は創建以来の開かれた外苑という性格を変えること
なく、様々なスポーツや文化、みどりを楽しむ場所として常に時代に合わせて変化してきた場所です。

一方で、神宮外苑の象徴である4列のいちよう並木や野球の聖地として 100 年近い歴史を紡いで
きた神宮球場は、これからも守るべき重要なものです。同様にラグビーの聖地として長い歴史を紡いで
きた秩父宮ラグビー場を含め、今般のまちづくりにおいて連鎖的な施設の更新・再配置を行うことで、ス
ポーツ競技開催の継続性への配慮や緑豊かな風格ある景観の保全を図りつつ、安全・安心かつ時代
に合わせたスポーツクラスター機能の実現が可能となります。

また、開かれた外苑のみどりは、公の往来と共に生育されたものであり、人が踏み入れることなく自
然更新される内苑の森とは異なり、時代の変化の中でこれまでも人の手により更新されながら現在の
姿となっております。今回の本計画を契機とし、よりみどりを楽しめる場所として安全性と環境維持の観

点から必要なみどりの更新を図ってまいります。

今後においても、内苑・外苑を合わせた「明治神宮」を将来にわたって護持していくために、守るべきものを守り、必要な更新は行い、次の 100 年に向けて外苑をより開かれ親しまれるものにしていくための取組が必要であると考えております。

以上の認識のもと推進する本計画の意義は、主に以下の 3 点にまとめられます。

- ① 老朽化した日本を代表するスポーツ施設を競技開催の継続性に配慮しながら連鎖的に更新し、広くスポーツに親しめる**世界に誇れるスポーツクラスター**を形成すること
- ② 新たな 100 年に向けて、4 列のいちょう並木等歴史ある景観を残しながら、外苑の魅力である**みどり**や**オープンスペースを増大**させるとともに、**歩行者ネットワークを強化し、イベント時も含め多様な来街者が安全に回遊して楽しめる**、東京を代表する新たな複合型のまちづくりを推進すること
- ③ 都市機能と広場等のオープンスペース、大規模スポーツ施設の連携により**広域避難場所としての防災性を高める**こと

2. みどりと市民参画の取組について

本計画においては、4 列のいちょう並木の保存、みどりの割合の増加(約 25%→約 30%)、樹木本数の増加(1904 本→1998 本)等お伝えしてきたところですが、本年 2 月 17 日付「神宮外苑地区第一種市街地再開発事業」施行認可のプレスリリースにも記載の通り、新たな樹林地とみどりの散策路を整備する計画としております。

こうした新たなみどりの整備にあたっては、市民の皆様にも参加いただき、共に次の 100 年に向けた新たなみどりを創っていく取組を進める予定です。

今後、東京商工会議所のご協力もいただきながら、市民の皆様からの新たな献木の募集も企画してまいります。また、明治神宮内苑・外苑の樹木の実生から芽吹いた苗木を育成し新たなみどりとして植樹する等、かつて献木という形で寄せられた先人の想いを受け止め、次の 100 年につないでいく取組を令和 5 年秋にスタートする予定です。詳細の内容が決定次第、今後プロジェクトサイト等で公表してまいります。

<「神宮外苑地区まちづくり」に関する情報の発信について>

「神宮外苑地区まちづくり」に関して、「4 列のいちょう並木が伐採される」「神宮外苑のみどりが減る」等の誤解や憶測が一部生じていること等を踏まえ、今月よりプロジェクトサイト※の構成や文章、デザインを刷新し、さらに新たなコンセプト動画を盛り込む等、より見やすい内容にリニューアルいたしました。

今後もプロジェクトサイトのコンテンツを拡充していき、都民の皆様はもとより多くの方々の理解や共感を得られるよう努めてまいります。また、プロジェクトサイトの認知度を高めるべく、今月 17 日より多様なツールを通じてより積極的に発信を進めていく予定です。

※「神宮外苑地区まちづくり」プロジェクトサイト

URL: <https://www.jingugaienmachidukuri.jp/>

お問い合わせ窓口

神宮外苑まちづくり準備室
電話番号 : 03-6695-0539

以上